

# 大野木グラウンドワークだより

平成 23 年 1 月 15 日 発行 NO 51 発行責任者 藤田 博、伊藤 晋

朝からマイナス温度で粉雪がさらさらと降っています、政所は一面雪景色でも寒い朝に 10 人余の人が集まっていた

まずは 12 月の社務所前の小屋整理の板材をファイヤーサークルで燃やすことから、大きな火でもさほど感じません、それだけ冷え込んでいるのかな

大ブランコの作業、苗木の手作業を展開中、観察デッキ前のどんぐりがカシノナガキクイムシの侵食を受けこのままでは危険となることから急ぎよ日比建設のユンボで引いてもらうことに、

稔さんがチェーンソーで時間をかけて切り倒してくれて、丁度そのときにユンボの使い手が到着、森の中に慎重に大型ユンボがそろりそろりと入ってきて、ワイヤーの掛け具合を調整しながら見事に方向転換させ吊りながら炭小屋横まで引き出しに成功  
まさに大木、後処理は次回にということに

皆さん厳しい寒さの中でも汗をかき、互いにそのままでは風邪ひきに注意しつつ 1 月の定例作業を終えることに

お昼はしし鍋にワイン、ビールがおいしく

別紙ワークショップ資料をお配りして「これからの」ことを少し

健康体操、ヨガの効果、山登りが有効であることなどなど高齢社会にたいしての・・・

若いころは高橋英樹といわれ、昔、ゴルゴの再来といわれ ええっと  
むしろ山下 清のおむすびで  
達夫さんの愉快的なキャラで一同大笑い  
にぎやかでほんとに楽しい新年会となりました

年初の諸事業が詰まっていまして少し飛びますが、今回は 2 月 20 日（日）になります

区分	現況	今後の展開
交流	ホタル 田舎フェスタ	
学習	巣箱 かぶと虫 中学生体験 観察デッキ	
特産	炭焼き きのこ 実のなる木	
里山再生	竹きり 間伐 里道再生	
遊び	ぶらんこ ターザン	
新分野  これからの 50 年のために 何をつなぐのか	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 森を耕す</li><li>・ ふるさとの味を極める</li><li>・ 新しいものを生み出す</li></ul>	

# 大野木グラウンドワークだより

平成 23 年 1 月 8 日 (土) 曇り  
NO51 発行 大野木グラウンドワーク協会



今年も楽しく頑張らしましょう



チェーンソーのバー20cmで太い大きなクヌギを伐採する。

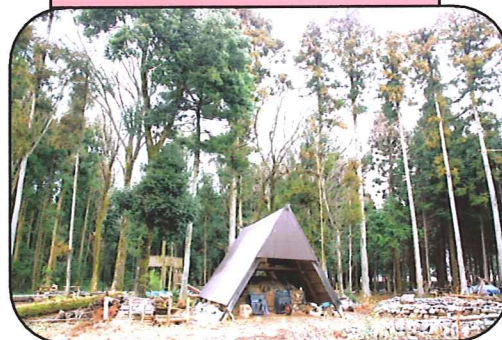


日比建設のユンボに牽引搬出を協力願った。



昨年「カシノナガキクイムシ」で枯れたクヌギが他のクヌギに移動しない様に伐採する事で被害を食い止めるように処置しました。効果は如何に。

株直径 65 ㍉ 株周り 1 ㍉ 70 ㍉  
無事伐採し株の切り口確認



継続は力なり



年末の積雪も解けたが、寒い中お疲れ様でした。



今回は日本一高い「ブランコ」作り・参加よろしく